

## 第 5 回 大臣表彰受賞者一覧

1	特定非営利活動法人 まち研究工房	<p>埼玉県戸田市のJR埼京線戸田駅周辺の市街地に点在する未利用地などにおいて、ベンチからなる休憩スポット「おやすみ処」を約50箇所設置することにより、高齢者や障害者などの移動困難者の休憩や多世代の交流が行えるスペースとしてネットワーク化するなど、全国的にもユニークな活動を行い、住民主体でまちのバリアフリー化に取り組んだ。</p>
2	佐賀県	<p>公共施設やショッピングセンターなどの身障者用駐車場において、障害のない人による不適正利用を防ぐために、利用証交付などからなる「パーキングパーミット制度」を全国に先駆けて実施するとともに、高齢者や障害者などが外出しやすい環境づくりを進めるために、店舗、事業所などの協力により、誰でも利用できるように開放され、バリアフリー化されたトイレを整備していく「みんなのトイレ協力制度」を実施するなど、地域の課題に対応した先導的なまちづくりに取り組んだ。</p>
3	特定非営利活動法人 旅とびあ北海道	<p>障害や年齢などの違いに関わらず、「誰でも、自由に、どこへでも」外出可能なサポートシステムを構築することを目的に、障害者と一緒にバリアフリー交流ツアーを実施するとともに、全国各地の旅先で障害者などがサポートを受けられる体制づくりを目指して、旅の企画や旅に同行し介助などの役割を担うトラベルサポーターを育成するための養成講座を全道各地で開催するなど、全国に先駆けて、観光のバリアフリー化に取り組んだ。</p>
4	倉敷市・倉敷美観地区バリアフリー推進会議	<p>文化財保護の観点からハード整備によるバリアフリー化が難しい地区である重要伝統的建造物群保存地区に指定された倉敷市美観地区内において、住民主体の推進会議と市が連携して、ハードにおけるバリアを“心のバリアフリー”により補完するために「おもてなしマイスター制度」を実施し、さらに地区内の道路整備において、住民主体によるバリアフリー化を実施するなど、市と住民が協働したまちのバリアフリー化に取り組んだ。</p>